

今年の企画展も、力を込めて作ってます！是非ご覧下さい

〈〈世界遺産の島 屋久島の自然〉〉

4月17日～6月20日

人々を魅了し続ける屋久島の動植物や地質、人と自然の関わり、そしてシカの増加による植生の影響や遺産登録後に起こった自然の変化についても実物標本や写真パネルなどを使って紹介しました。



特に、「本物を見る、本物にふれる」ことを大事にしながら、花崗岩や水晶などの岩石標本、

ヤクシマシャクナゲやヤクシマダイヤモンドソウなどの鉢植え、アカウミガメ、カラスバトなどの剥製、チョウやカミキリムシなどの昆虫標本などを数多く展示しました。「迫力がある」「内容が盛りだくさんでおもしろい」などの感想をいただきました。

今後も、本館2階の屋久島の常設展示とともに屋久島の魅力をいろいろな形で発信していきます。

〈〈とべ とべ とんぼ〉〉

7月3日～8月31日

鹿児島では全国で記録のあるトンボのうち、約6割の種類が見られます。その主な要因は、南北600kmに渡って県域があることにより、北方系の種と南方系の種が両方ともいるためです。

夏休み、子どもたちの興味の中心は昆虫です。今年は「鹿児島のトンボ」の展示をしました。トンボのからだのつくりを詳しく見たり、成虫になるまでの姿をチョウなどに見比べたりしました。またトンボのオスとメスをクイズ形式で見分けるもの、こちらをにらんでいるように見える偽瞳孔の模型も展示しました。展示室の中心には流れのある池を再現し、ヤゴを放しました。また、トンボの羽化や空中での方向転換など、肉眼ではなかなか見られないものを展示する写真展のコーナーもあり

ました。エントランスには、北九州市立いのちのたび博物館から借用した白亜紀のトンボ・ヤゴの化石も展示しました。



また、8月の土・日曜日の楽しい実験では、「ヤゴのひみつ」と題して観察実験を行いました。メチレンブルーで着色した水に入れたヤゴを透明な水に移すと、おしりから青い水流が発生し、参加者の歓声がわきました。

★ ぞの企画展 ★

〈〈温暖化？ちょっと変だよ かがしまの生きものたち〉〉

10月2日～11月7日

本県は、冷温帯から亜熱帯までの自然環境に恵まれ、多種多様な生物が生息しています。ところが最近になり、分布や行動に変化が見られるようになってきました。これは地球温暖化と関係があるのでしょうか？地球温暖化と鹿児島にすむ生物にみられる変化、身近な自然の変化を観察する方法等について紹介します。

〈〈かごしま 大カルデラ〉〉

2月5日～4月3日

カルデラは、巨大噴火によってマグマだまりが空洞になり大地が落ち込んでできた地形です。私たちの住む鹿児島には、加久藤、始良、阿多、鬼界の4つの代表的なカルデラがあります。これらのカルデラを出現させた巨大噴火の特徴や、火山活動と私たちの生活との関わりについて紹介します。



始良カルデラ南縁部 (吉野台地より南方を望む)

自然の魅力を 子どもたちに伝えよう フィールドワーカー養成講座

授業に活かせる知識や技能を身につけ、さらに博物館と学校及び地域とのネットワーク作りを進める目的で始まったフィールドワーカー養成講座も今年で4年目となりました。

受講対象は、子どもたちと日々接している学校や教育機関の職員です。植物、動物、昆虫、地質、天文の5分野にわかれ、野外での観察や調査を通して自然の見方や考え方、調査の方法などを、年間7回継続的に学んでいます。

野外活動ですから、山を登り、やぶを進み、池に入るなんて当たり前。暑くても寒くても、雨が降っても行うので、とてもハードです。



太陽黒点の観察

しかし、受講者は、学んだことを授業などで活かしたい、子どもたちに還元できるようにしたいと、真剣に取り組んでいます。

また、今年も子どもたちに一番近いフィールドとして「校庭での自然観察」を行いました。鹿児島市立長田中学校を会場に、午前は校庭に生える植物やそこに住む動物を、午後からは石碑などに使われる岩石や太陽の黒点の観察などを行いました。総合的に行うことで、より科学的な見方や考え方に触れることができ、非常に充実した自然観察となりました。



どうしてここに生えているのか？

大雨でも大賑わい 博物館まつり

5月23日(日)に開催した「博物館まつり」は、大雨のために博物館本館と別館のみでの実施となりました。それでも約1,700人の参加があり、大賑わいでした。



収蔵庫の見学

科学教室「博物館ミステリーツアー&文化財めぐり」では、ふだん公開していない収蔵庫の見学が好評でした。また、移動博物館でしか行わない液体窒素を使った実験「とほうもなく冷たい世界」や、博物館で行っている楽しい実験「葉っぱや木であそぼう」、「屋久島ワンダーランド～石ころでアート～」などのほか、「屋久島ミュージアムトーク」など実施しました。また駐車場のテントでは、ふれあいコーナー「ザリガニ・ゲンゴロウつり」、「チョウとあそぼう」などを実施しました。



とほうもなく冷たい世界

今回も事前の準備から、当日の設営や運営、後始末にいたるまで、博物館友の会をはじめ、中高生ボランティア、まつりに賛同くださった学校の先生方等にご協力いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。